

山田やすゆき市政報告

日本共産党岩国市議会議員

海士路町2 55 7
31 2985

しん赤旗

お読みください
日刊 月 2900円
日曜版 月 800円



謹んで

新春のお喜びを

申し上げます



平成十六年十二月岩国市議会は、十二月一日から二十一日まで開かれました。

主に、平成十五年度岩国市一般会計歳入歳出決算の認定について審議が行なわれ、三八九億六七八〇万円の歳出決算、七億四三三三三万円の黒字。補正予算は専決処分が報告され、台風十六号、十八号による被害に対処するため、三億七五九万円の専決処分が報告され、十二月補正として、二億七千七百三十千円が決まりました。

私山田は、「市町村合併での地域説明会のあり方、住民投票の実施を求めること、災害対策、アルゼンチン・アリ対策、社会法人・社会福祉協議会のあり方」について質問を行いました。その要旨を報告いたします。

ではなかった。

住民不在の合併反対 住民投票を求める

七月に開催された地域説明会は、市内二十四会場、一二七八名（この内、市議員一七六名複数参加）で、実質一〇〇余名の参加者でとても十分といえるも

二月に開催が予定されている八市町村の地域説明会は、十分な情報を市民に提供し、場所、回数を多くすること。説明会場では参加者に理解できる言葉で説明すること。又、現在進められている合併協議は市民不在で

岩国市の将来を決める重要な問

題だと指摘し住民投票を実施するよう質問しました。

合併は

「理解されている」と答弁

七月に開催した地域説明会のように二二地区自治会連合会単位で実施するのは日程的に困難。開催日程、場所等については協議会スケジュール等と関連があるので現在検討中とし、現状では、合併事態の是非を云々という意見は少なく、合併の必要性は十分に認識されているものと理解している。したがって住民投票を実施する必要はないと考えているとの答弁しました。

再度住民投票を求める、

説明会には、市長、助役がそれぞれ分担任してできるだけ多くの会場で実施すべきであり、市町村合併は岩国市の将来を決める重要な問題で、市民の判断を仰ぐべきだと「住民投票」の実施を強く求めました。

災害対策について

朽化の著しいものから順次改築すると答弁しました。

豪雨・高潮について

藤生地区について

岩国市は平野部が少なく、昭和三十年の中頃から丘陵地や海岸部、更には水田や遊水地での宅地開発が進み、台風や集中豪雨時、大潮と満潮が重なり、河川水路は昔のまま狭く住宅浸水に悩まされており、対策を求めました。

当面の対策

浸水が予想される地域において、緊急時には仮設ポンプの配備及び土嚢の配布を行なっている。

海士路地区について

小浜ポンプ場、海士路開作ポンプ場の能力不足で豪雨時はいつも家屋浸水に悩まされています。早急な対策を求めました。

順次改築

海士路地区は河川水路の断面及び排水能力のチェック及び老

丸子川、中浜川、清水川の河口付近（国道一八八号とJR山陽線の間）の住宅地は豪雨と高潮・満潮が重なった場合の住宅浸水防止対策を求めました。

総合的に検討

藤生地区における高潮・満潮時の対策は、岩国市単独では不可成な面もあり、関係機関との協議をおこい総合的な見地の検討が必要と答弁しました。

この他、川下地区住民から要望がありました井関下流の浚渫と上流の樹木の伐採。北河内地区四土地改良区の皆さんが豪雨時のダム放流時、適切に行なわれているかとの要望書について質しました。



アルゼンチンアリの被害対策について



11月29日 アルゼンチンアリ対策
政府交渉(環境省)

十一月三十日に黒磯地区の「アルゼンチンアリの被害地域住民の会」から自治会・千八十人から「アルゼンチンアリの被害実態調査と薬品購入費用の負担軽減措置を求める署名簿」が提出されました。皆さんがアリの被害を被って居られるのをただ「不被害虫」と言うだけで何ら対策を実施しないことは大変重大な問題だ。市長も地域の状況を把握すること、そして対策を実施するよう求めました。

現時点調査しない 市長

山口県においては、農作物の被害はないと報告を受けている。人的被害については、咬む事例はあるようだが毒性がないことから、「不快」な範囲で被害実態調査を行なうことは現時点では考えていない。

調査を求める 山田

住民が「アルゼンチンアリ」の被害で苦しんでいる時、行政が何もしないとすることは重大な問題だと強く抗議すると共に実態調査を求めました。

岩国市社会福祉協議会について

社会福祉協議会で地域福祉権利擁護事業に係る100万円の紛失や福祉会館使用料など金銭管理の事故・事件がおきています。金銭管理に関する問題点の解消について、運営(金銭管理)と事件再発防止の対策について社会福祉協議会としてどのような対策を行なっているのかについて質問を行ないました。

再発防止の対応を実施

依頼者からの預かり金品が喪失するという事態が生じ、残念で遺憾に思っています。現在、岩国市社協原因調査委員会」を設立し現在調査中であり、事実関係と再発防止等の対応を実施していくと答弁しました。

市町村合併を考える

(連載 その10)

市民に何らメリットのない合併

面積だけ広く、借金も市民負担も増える



岩国市の借金約651億円 町村の借金約444億円 合計1095億円

市民一人当たり61万5000円が71万1000円に

更に愛宕山関連事業、市庁舎建設事業、公共下水道事業など多額の借金が予想

岩国市は平成12年度末に借金が約670億円・一人当たり63万4000円に達し、財政は危機的だとして、平成13年2月に「財政健全化計画」策定。市民のささやかな要求・要望には予算が無いと退けてきました。

政府の三位一体改革による交付税の削減や臨時財政対策債が来年度から更に削減され、岩国市の予算編成は一段と厳しい予算編成を強いられることは避けられません。

井原市長自ら市議会の全員協議会(11月2日)で「合併すれば直ちに厳しい財政再建の実施を迫られるのは必死」と発言しています。

岩国市の17年度予算は10億円の財源不足が明らかになり、岩国市の財政は危機的な状況になっています。

その上借金が1095億円・一人当たり71万円以上になれば更に厳しい財政運営は避けられません。

市の職員の中では合併をすれば、「新市」は借金財政で沈没するのではないかと危機感をもっています。

さらに厳しい予算になり、住民サービスは行き届かなくなるのではないのでしょうか。

合併について共に考えましょう。

市町村合併説明会日程表

日付	時間	場所
1月22日(土)	12時30分～	柱島供用会館
1月24日(月)	18時30分～	通津供用会館
1月25日(火)	18時30分～	小瀬供用会館
1月27日(木)	18時30分～	灘 供用会館
1月31日(月)	18時30分～	中央 公民館
2月 1日(火)	18時30分～	平田供用会館
2月 2日(水)	18時30分～	岩国西中学校
2月 3日(木)	18時30分～	愛宕供用会館
2月 4日(金)	18時30分～	御庄 公民館
2月 5日(土)	18時～	藤河 公民館
2月 6日(日)	12時と18時	岩国福祉会館